

【試験結果速報】

株式会社YOOコーポレーション 様

2011.8.30
(財) 北里環境科学センター

ご依頼の試験結果が出ましたので、ご報告いたします。

目 的 : 貴社ご提供「エコキメラSW-50」塗布生地の上のウイルス不活性化効果を検討した。

試 験 品 : 「エコキメラSW-50」塗布生地
未加工生地 (陰性対照)

試験ウイルス : A型インフルエンザウイルス (H1N1)

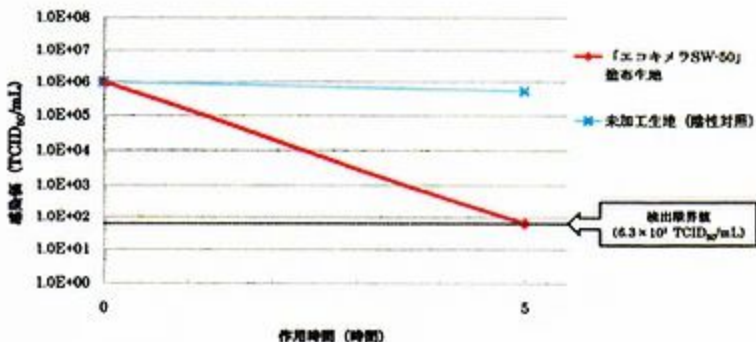
- 試験概要 :
- ・試験サンプル (0.4g) にウイルス液を0.5mL滴下する。
 - ・所定時間作用後、試験品からウイルスを回収する。
 - ・回収したウイルス液の感染価をTCID₅₀法を用いて測定する。

ウイルス感染価

試験品	作用時間 (分)	
	0 (初期)	5
エコキメラSW-50 塗布生地	1.0E+06	6.3E+01
未加工生地 (陰性対照)		5.3E+05

ウイルス感染価単位: TCID₅₀/mL

検出限界値: 6.3×10^1 TCID₅₀/mL



貴社ご提供「エコキメラSW-50」塗布生地は、5分の作用時間で5分後の未加工生地と比較してインフルエンザウイルスの感染価を3.9桁減少させた。

以上

品質試験報告書

株式会社 YOOコーポレーション 殿

試験番号 20219054665-1 (1/1)

2020 年 1 月 24 日

受付月日 2020 年 1 月 14 日
品名・品番 SRW-1-3 30 NO:080201
数量 1

一般財団法人 ボーケン品質評価機構
BOKEN
大阪機能性繊維センター
〒552-0021 大阪市港区長瀬1-6-21
TEL 06-6377-0200(代表)
FAX 06-6577-0210

- [試験項目] 抗菌性試験
- [試験方法] JIS L 1902 : 2015 菌液吸取法
生菌数の測定方法：混濁平板培養法、培養時間：18時間
界面活性剤(Tween80)0.05%を添加した試験菌液を使用した。
- [試験菌株] 大腸菌 *Escherichia coli* NBRC 3301
- [試験結果]

	増殖値
標準綿布	3.1

(試験成立条件：増殖値 \geq 1.0 であること)

試料名	抗菌活性値
SRW-1-3 30 NO:080201	6.2

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。
本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。
公印の無い報告書は正式なものではありません。





試験証明書

中央自動車工業有限

ご提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

受付月日 2008年11月10日

品名・品番 ④FW-10ディッピング

数量 1

2008年12月12日

〒640-0055 大阪府中央区上町1丁目1番15号

財団法人 日本紡績検査協会

近畿事業所

TEL 大阪 06(572) 5387 (代表)

FAX 大阪 06(572) 5383

〔試験項目〕

かび抵抗性試験

〔試験方法〕

JIS Z 2911 プラスチック製品の試験 方法 A

無機塩寒天培地上に試料を貼付し、湿潤剤添加無機塩溶液の入った下記5菌株の混合孢子懸濁液を噴霧した。29±1℃、90% RH
以上で28日間培養し、試料上のかびの生育を観察した。

〔試験菌株〕

Aspergillus niger ATCC 6275

Penicillium funiculosum ATCC 9644

Paecilomyces variotii ATCC 10121

Glucadatum virens ATCC 9645

Chaetomium globosum ATCC 6205

〔試験結果〕

試料	かびの生育				かび抵抗性表示
	7日	14日	21日	28日	
④FW-10ディッピング	-	-	-	-	0

(注.) かびの生育の観察は、顕微鏡で行った。

(注.) 試験は依頼者指定面で行った。

(注.) アルコールによる試料の清浄化は行わなかった。

- *表中 (一) かびの生育を認めない。
(±) かびの生育は肉眼では認められないが、顕微鏡下では認められる。
(+)~(≡) 肉眼で順次かびの生育が著しい。
- *表示 (0) 肉眼及び顕微鏡下でかびの生育は認められない。
(1) 肉眼ではかびの生育が認められないが、顕微鏡下で確認する。
(2) 菌糸の発育が肉眼で認められるが、発育部分の面積は試料の全面積の25%を超えない。
(3) 菌糸の発育が肉眼で認められる。発育部分の面積は試料の全面積の25%を超える。

試験番号 015319-4

大阪府藤井寺市大井1丁目4-57
株式会社 YOOコーポレーション 殿

財団法人 化学技術戦略推進機構
高分子試験・評価センター 大阪事業所
〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1-5-3
TEL. 06-6788-8134 FAX. 06-6788-7891

証明書

貴社持参の試料についての試験結果は下記のとおりであることを証明します。

記

試料：おでんの蓋 防曇性

試験方法：食品衛生法・食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）
ポリカーボネートを主成分とする合成樹脂製の器具又は容器包装
（平成18年厚生労働省告示第201号）

溶出条件：片面溶出法

試験年月日：平成22年10月21日

試験結果：

試験項目	試験結果
材質試験	
鉛	適合する
カドミウム	適合する
ビスフェノールA（フェノール及びp-tert-ブチルフェノールを含む）	適合する
ジフェニルカーボネート	適合する
アミン類（トリエチレンジアミン及びトリアルキルアミンに限る）	適合する
溶出試験	
重金属	適合する
蒸発残留物	
水	適合する
4%酢酸	適合する
20%エタノール	適合する
ヘプタン	適合する
過マンガン酸カリウム消費量	適合する
ビスフェノールA（フェノール及びp-tert-ブチルフェノールを含む）	
水	適合する
4%酢酸	適合する
20%エタノール	適合する
ヘプタン	適合する

上記結果は、食品衛生法・食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）に適合する。

品質試験報告書

株式会社 YOOコーポレーション 殿

試験番号 20214021975-1 (1/1)

2014年 7月 28日

受付月日 2014年 7月 16日
品名・品番 ①, ②
数 量 2

一般財団法人 ボーケン品質評価機構
BOKEN

大阪事業所

〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング9F

TEL 06-4705-1120 FAX 06-4705-1125

〔試験項目〕 抗菌性試験

〔試験方法〕 JIS L 1902 : 2008 定量試験(菌液吸収法) 準用
生菌数の測定方法: 混釈平板培養法

〔試験菌株〕 黄色ぶどう球菌 *Staphylococcus aureus* NBRC 12732

〔試験結果〕

	生菌数の常用対数値		増殖値
	接種直後	4.3	
標準綿布	18時間後	7.1	2.8

(試験成立条件: 増殖値 \geq 1.0 であること)

試料名	生菌数の常用対数値		殺菌活性値	静菌活性値
	接種直後	4.3		
①SRW-30-B (NO:172607)	18時間後	1.3以下	3.0以上	5.8以上
	接種直後	4.3		
②FRW-30-B (NO:172607)	18時間後	1.3以下	3.0以上	5.8以上
	接種直後	4.3		

(注₁) 界面活性剤(Tween80)0.05%を添加した試験菌液を使用した。

(注₂) 試料重量は0.12gで試験を行った。

(注₃) 重量不足により、試験はn=1で行った。

〔参考〕

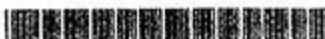
算出方法: 殺菌活性値 = $Ma - Mc$
静菌活性値 = $(Mb - Ma) - (Mc - Mo)$

Ma: 標準綿布の接種直後
Mb: 標準綿布の18時間後
Mo: 試験試料の接種直後
Mc: 試験試料の18時間後

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。

本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。

公印の無い報告書は正式なものではありません。



品質試験報告書

株式会社 YOOコーポレーション 殿

試験番号 20216079198-1 (1/1)

2017 年 3 月 7 日

品名・品番
1 SRW-30

一般財団法人 ボーケン品質評価機構

大阪事業所

〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング9F

TEL 06-4705-1120 FAX 06-4705-1125

試験項目：消臭性試験

試験結果：

項目	区分	1	2	3	4
消臭性	減少率(%)				
	アンモニア	≧99	-----		
	アセトアルデヒド	70			
	ホルムアルデヒド	≧99			

備考：

消臭性試験方法：(一社)繊維評価技術協議会 SEKマーク繊維製品認証基準 準用
21. 消臭性試験(検知管法)

ガス初発濃度：アンモニア 100 ppm
アセトアルデヒド 14 ppm
ホルムアルデヒド 15 ppm

試験試料：検知管法 1g

測定時間：2時間後

1	2	3	4
見本は貼付 できません			

本試験結果はご提出の試料に対するものであって、荷口を代表するものではありません。

本報告書の全部または一部の無断転載・転用は固くお断りします。

公印の無い報告書は正式なものではありません。



試験速報

試験品散布による浮遊ウイルスの抑制性能評価試験 (1 m³空間)

(1) 試験ウイルス

Escherichia coli phage MS2 NBRC 102619 (大腸菌ファージ)

(2) 試験品

無光触媒「エコキメラ」(リン酸チタニア溶液) / 100 mL

(3) 試験方法

1 m³の試験チャンパー内に試験品100 mLを入れたスプレーガンを設置し、密閉してウイルスを噴霧、浮遊させた。初発(0分)の浮遊ウイルスをインピュンジャーで捕集後、スプレーガンから試験品を2分間散布した。散布終了から所定時間ごとに試験チャンパー内の空気を捕集して、浮遊ウイルス数を測定した。

(4) 結果

表. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数と減少率

(単位: PFU/7.5 L-air)

試験条件	時間 (分)		
	0	1	5
試験品なし (対照)	4,500,000 (減少率0%)	X	2,900,000 (減少率35%)
チャンパー内に 試験品をスプレー散布	4,200,000 (減少率0%)	920 (減少率99.97%)	35 (減少率99.9991%)

※各時間の減少率は、以下の計算式より計算

$$\text{減少率 (\%)} = \left\{ 1 - \frac{\text{各時間のウイルス数}}{\text{0分 (初期) のウイルス数}} \right\} \times 100 (\%)$$

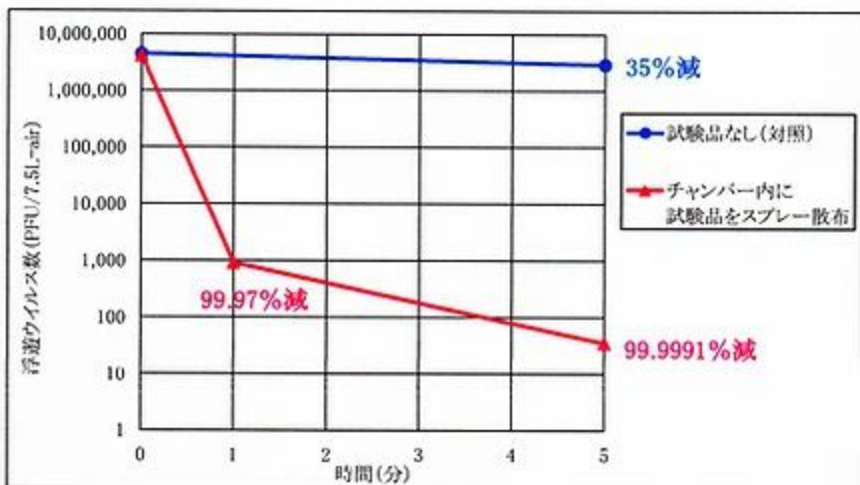


図. 経過時間ごとの浮遊ウイルス数と減少率